令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	道路維持管理事業				コード	03110200-0104	
中事業名	道路用地管理事業				計画区分	―	
担当部等	都市整備部		担当課等	土木管理課			
総合計画	コード	名称	予算科目		コード	名称	
基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計	
基本施策	11	道路		款	08	土木費	
主要施策	02	生活道路の整備		項	02	道路橋梁費	
				目	01	道路維持費	
				大	01	道路維持管理事業	
				中	04	道路用地管理事業	
根拠法令・条例等	道路法、建築基準法、日進市狭あい道路対策事業費補助金交付要綱						
基本計画等	日進市狭あい道路拡幅整備促進計画						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	境界確定事務による道路境界を基礎として、道路内民地等の測量や分筆登記を行い、所有権移転登記を目指す。また、寄附を前提とした道路後退用地については、分筆費用の補助を行うことで用地提供者の費用負担を軽減し、積極的な寄附を推進する。
対象	道路等の公共用地
意図（目的）	測量や登記業務を行い権利関係を明らかにすることで、道路等の公共用地の適切な維持管理を図る。
手段	官民境界確定業務の実施、道路用地の測量及び分筆登記の実施、所有権移転等の権利登記の実施、寄附を前提とした道路後退用地の分筆費用の補助　等

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			18,082	12,065	18,140	10,785	15,604	15,135	14,893
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	594	293	264	293	378	293
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		18,082	11,471	17,847	10,521	15,311	14,757	14,600

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	狭あい道路対策について、現在実施している市ＨＰ、広報での啓発に加え、市開発等事業に関する手続条例の手続の際にも本事業の説明を行うなど、広く市民・事業者等に啓発を行い、補助制度を活用して、積極的に用地を取得していく。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	狭あい道路対策事業費補助金をさらに活用してもらうよう、補助対象や補助額の変更を研究、検討する。

令和 3年度に取り組んだこと	官民境界画定業務や市民からの相談等で判明した道路内民地について、土地所有者等と協議して測量・登記を実施し、用地を取得した。また、道路後退用地については、狭あい道路を解消するため、分筆費用補助制度を啓発し、土地所有者に用地の寄附を呼びかけた。

成果	道路内民地等用地を寄附により6件取得した。また、狭あい道路対策事業費補助金を活用したうえでの用地寄附により、3件の用地を取得した。
課題	道路内民地は測量をきっかけに判明することが大半で、事前把握が困難なため、実態把握後の対応となる。また、狭あい道路対策事業については、建築計画時に併せて用地寄附を呼びかけ、受け取ることとなるため、計画的な道路拡幅につなげることが困難である。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	課題はあるものの、道路内民地の解消と狭あい道路の拡幅においては、手段としては現状が精一杯であるため、継続をしていく。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		狭あい道路対策について、現在実施している市ＨＰ、広報での啓発に加え、市開発等事業に関する手続条例の手続の際にも本事業の説明を行うなど、広く市民・事業者等に啓発を行い、補助制度を活用して、積極的に用地を取得していく。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		狭あい道路対策事業費補助金をさらに活用してもらうよう、補助対象や補助額の変更を研究、検討する。			

【アウトプット指標】

指標名	狭あい道路対策事業補助金交付件数（延べ）					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	10.00	12.00	17.00	14.00	19.00	17.00	22.00

【アウトカム指標】

指標名	道路後退用地の取得面積					単位	㎡
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	110.00	181.07	180.00	105.16	180.00	69.82	180.00
式	年度内に取得した道路後退用地の面積						
指標の狙い	道路後退用地を取得し、狭あい道路解消を推進する。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	道路維持管理事業				コード	03110300-0101	
中事業名	道路維持管理総務事業				計画区分	―	
担当部等	都市整備部		担当課等	土木管理課			
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計
	基本施策	11	道路		款	08	土木費
	主要施策	03	道路・橋梁の適正な維持管理・長寿命化		項	02	道路橋梁費
					目	01	道路維持費
					大	01	道路維持管理事業
					中	01	道路維持管理総務事業
根拠法令・条例等	道路法、日進市道路占用料条例、日進市公共用物管理条例、日進市道路管理条例、他						
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	道路等を適正かつ効率的に維持管理を行い、市民が安全・安心して利用できる快適な道路環境を確保する。
対象	道路管理に係る一般事務
意図（目的）	道路管理に係る一般事務を一括して執行することで効率化及び経費の節減を図る。
手段	旅費の支給、消耗品や備品の購入、光熱水費や電算システム管理費の支払い　等

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			13,657	12,549	16,134	14,042	14,801	12,942	15,280
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		13,657	12,549	16,134	14,042	14,801	12,942	15,280

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	市民サービスの向上や事務の簡素化のために、引き続き道路台帳のデジタル化を進める。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	更なる市民サービス向上のため、道路台帳と水路台帳の一元化の検討を行う。

令和 3年度に取り組んだこと	開発による道路の移管・帰属、道路改良等に伴い、道路台帳加除修正を行った。また、道路占用、承認工事等の書類審査を行い、適切な指導に努めた。

成果	前年度に比べデジタル化延長が伸び、デジタル化率を高めることができた。年間で935件の道路占用・使用・承認工事等の申請に対し、適切な判断を行い、情報の共有化を図ることにより、業務を円滑に行うことができた。
課題	道路台帳のデジタル化を進め完了させないと、水路台帳との一元化が実現できないため、継続して実行していく必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	前年度に比べデジタル化延長が伸び、デジタル化率を高めることができた。年間で約1000件の道路占用・使用・承認工事等の申請処理の効率化を進めていくため、今後もデジタル化を進めていく必要がある。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		市民サービスの向上や事務の効率化のために、引き続き道路台帳のデジタル化を進める。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		さらなる市民サービス向上と事務効率化のため、道路台帳と水路台帳の一元化を目指す。			

【アウトプット指標】

指標名	デジタル化延長					単位	km
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	15.00	12.00	15.00	17.00	17.00	16.00	16.00

【アウトカム指標】

指標名	道路台帳デジタル化率					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	55.40	54.70	58.30	62.40	65.80	65.90	69.20
式	デジタル化延長/道路管理延長×100						
指標の狙い	道路台帳のデジタル化を行うことにより、適切な道路管理、情報の共有化を図ることができる。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	河川排水施設維持管理事業				コード	03190100-0101	
中事業名	河川排水施設維持管理総務事業				計画区分	―	
担当部等	都市整備部		担当課等	土木管理課			
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計
	基本施策	19	河川・排水路		款	08	土木費
	主要施策	01	河川・排水路等の整備及び維持管理		項	03	河川費
					目	01	河川維持費
					大	01	河川排水施設維持管理事業
					中	01	河川排水施設維持管理総務事業
根拠法令・条例等	道路法						
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	市民が安全・安心に暮らせるように水害を未然に防ぎ、市が管理する河川、河川施設や水路等を適切かつ効率的に維持管理を行う。
対象	河川排水施設管理に係る一般事務
意図（目的）	河川排水施設管理に係る一般事務を一括して執行することで効率化及び経費の節減を図る。
手段	旅費の支給、光熱水費、保険料や雨水ポンプの管理費の支払い　等

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			6,185	5,983	6,309	6,210	5,863	5,439	5,847
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		6,185	5,983	6,309	6,210	5,863	5,439	5,847

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	市民サービスの向上及び事務の簡素化のため、引き続き排水路台帳の見直しを進める。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	更なる市民サービス向上のために引き続き排水路台帳の加除修正を行い、台帳の見直しを進める。

令和 3年度に取り組んだこと	開発による排水路の移管・帰属や排水路改良工事の実施に伴い、排水路台帳加除修正業務を行った。

成果	排水路台帳加除修正において、デジタル化は完了している。また、開発による排水路の移管・帰属や市が実施した排水路改良工事における修正・追加部分に関して、デジタル化を実行した。
課題	デジタル化そのものは完了しているものの、現地との整合の精度が不十分であるため、今後見直していく必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	日進市統合型GISにおいて、排水路台帳記載情報の提供が進んでいる。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容	市民サービスと事務効率の向上のため、引き続き排水路台帳の加除と修正追加部のデジタル化、一部箇所の見直しを進める。				
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	さらなる市民サービス向上のために引き続き排水路台帳の加除修正を行い、台帳の見直しを進める。				

【アウトプット指標】

指標名	排水路台帳の見直し延長					単位	ｋｍ
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	20.00	20.00	20.00	28.00	25.00	24.46	25.00

【アウトカム指標】

指標名	排水路台帳見直し率					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	16.60	16.60	18.60	19.48	22.00	22.36	24.80
式	見直し延長/排水路管理延長						
指標の狙い	排水路台帳の見直しを行うことで、より正確な排水路の管理と情報提供を行うことができる。						